

| | | | | | |
|------|--------------------|-----------|------------|--------|-----|
| 講義名 | 対)課題演習(流通・マーケティング) | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 李 志明 | 開講期・曜日・時限 | 前期 木曜日 3時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1年生 |

主題と概要

課題演習では、修士論文の作成を視野に入れて、研究テーマの選定、文献レビュー、研究の課題と方法について修得する。毎回、数名の受講者が先行研究や自分の研究についてプレゼンテーションを行い、全員と議論を行う。

到達目標

1. 修士論文作成の基盤づくりができるようになる。
2. 論理的な思考力を身につけるようになる。

提出課題

各自の報告レジュメを作成し、全員に配布する。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

全員で議論しながらフィードバックする。

評価の基準

- ・議論参加(50%)
- ・プレゼンテーション(50%)

履修にあたっての注意・助言他

- ・修士学生としての知覚を持ち、学生主導の議論をすることが求められます。
- ・互いに発展できるよう、積極的に意見交換をします。

教科書

| | | | | |
|---------|--|--|--|--|
| .使用しない。 | | | | |
|---------|--|--|--|--|

参考図書

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

その他

- ・各自の研究分野の既存論文や文献
- ・適宜、教員から配布

授業計画

1. 課題演習について
2. 自分の既存論文の発表と議論
3. 自分の既存論文の発表と議論
4. 先行研究の理解：研究のテーマ設定方法
5. 先行研究の理解：研究のテーマ設定方法
6. 先行研究の理解：研究の位置づけ
7. 先行研究の理解：研究の位置づけ
8. 先行研究の理解：研究の位置づけ
9. 先行研究の理解：仮説と研究方法
10. 先行研究の理解：仮説と研究方法
11. 先行研究の発表と議論
12. 先行研究の発表と議論
13. 先行研究の発表と議論
14. 自身の研究の中間報告と議論
15. 自身の研究の中間報告と議論

授業形態(アクティブ・ラーニング)

| | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> A: PBL(課題解決型学習) | <input type="checkbox"/> I: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態) |
| <input type="checkbox"/> W: ディスカッション、ディベート | <input type="checkbox"/> E: グループワーク |
| <input type="checkbox"/> O: プレゼンテーション | <input type="checkbox"/> C: 実習、フィールドワーク |
| <input type="checkbox"/> K: その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合) | |

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習(2時間): 自身の関心に沿った文献を渉猟し、レジュメを作成する
- 復習(2時間): 授業中の議論の要点を整理し、関連文献をさらに収集する

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義は、特に、本学ディプロマポリシーにある「論理的思考力を持った人材育成」に資することを念頭において進める。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

教員および学生同士の積極的な討議によって講義を進める。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
物流データ分析や物流政策立案の支援経験がある。民間企業や政府の考え方と仕事のやり方などを伝え、より現実感のある授業を提供する。

備考